

# じぞうくんのそぼくな疑問



- じぞう 毎日暑いなあ。何だかおいしそうな匂いがする。あれ、かもくんどうしたの？
- かも さっき歩いていたら、水たまりが見えたんです。嬉しくなって飛び込んだら、水たまりがなくなって、代わりに熱いアスファルトが！
- じぞう ああ、暑い日にときどき見かけるよね。
- かも 私の回りでは「幻の水たまり」と呼んでいます。
- じぞう たしか蜃気楼の一種で「にげ水」というんだよね。
- かも あれも蜃気楼なんですね。
- じぞう うん。ないはずの景色が見えたり、遠くの橋が歪んで見えたり。様々な現象があるみたいだよ。
- かも 蜃気楼は、司馬遷/著『史記』のうち「天官書」に語源となる言葉が出てくるんです。蜃という名の生物が蜃気楼を生み出すと。
- じぞう 蜃？
- かも はい。龍あるいは大蛤。現在では大蛤の方が一般的なな。
- じぞう そこまで知っているのに、かもくんは騙されちゃうんだね。
- かも あれが蜃気楼とは思わなかったの。ほら、この火傷見てください。
- じぞう 大丈夫？焦げてるね。さっきからする匂いはこれかあ。今日の夕飯は、焼き鳥にしようっと！
- かも ……じぞうくんよ。

## じぞうくんが読んだ本はこちら

- 『蜃気楼のすべて！』  
日本蜃気楼協議会/著 草思社 (451 二)
- 『空の探検記』  
武田康男/著 岩崎書店 (451)

# 夏のイベント

夏のすがも図書館は、  
たのしいイベントがたくさん！

「がもがもシールラリー」  
期間：8/2(火)～8/31(水)  
本をよんでめいるのシールをもらっちゃおう！  
スタートコースとチャレンジコース、  
きみはどっちにおもむかえる？

「こわいおはなし会」  
8/7(日) 11:00～ 先着7名  
賢いといえはこわいおはなし。ひとりできけることも限定だよ  
みんなできけば、こわくない？！

「どうする!?自由研究」  
期間：7/23(土)～8/25(木)  
自由研究のヒントになる本がありますよ。  
ごまっかことがあったら、相談室にきてね★  
お悩み相談室：8/4(木)・8/9(火) 14:00～15:00  
各回先着5名

「平和について考えよう！」  
期間：7/23(土)～8/25(木) 地下すかがもきやラリー

## 編集後記

この夏は、お休みしていた行事が少しづつ復活する予定です。  
感染対策に気をつけながらの実施となりますが、お時間があれば是非ご参加ください。  
お待ちしております！ (M)

# すがもらいぶらり

2022年8月5日 栄鴨図書館発行

## すがもがーでん 夏だより

夏を感じさせてくれる果物・野菜育てています！



## 緑のカーテン <ゴーヤ>



## とうもろこし



## すいか



じぞうくん  
すいかもとうもろこしも大好きな  
じぞうです！  
イラスト作 S



## 食いしん坊司書の部屋



今回のテーマは「おいしい絵本」。案内してくれるのは、この春、巣鴨図書館の仲間になった司書Hさんです。

幼い頃から食いしん坊の片鱗をのぞかせていた私。3人兄弟の末っ子で、絵本もおさがりが多かったのですが、とても気に入って、おねだりして買ってもらった絵本が西巻茅子さんの『ふんふんなんだかいにおい』。かわいらしく愛らしい表紙の絵本を開くと、タイトルの通り、今にも美味しいにおいが漂ってきそうです。今も昔も、大人も子どもも、やっぱり美味しいようなものが出てくる本は大好き！ですよね？『ぐりとぐら』、『おばけのてんぷら』、『からすのパンやさん』、『11ぴきのねことあほうどり』、『しろくまちゃんのほっとけーき』。長い間読み継がれている絵本には、やっぱりおいしいようなものが出てくるのです。このお話では、さっちゃんのエプロンについた朝ごはんのにおいを嗅ぎつけて、動物たちが次々とさっちゃんの家に来てきます。しかもなぜか、キツネの子、クマの子、オオカミの子と、子どもにとっては、ずる賢かったり、怖かったりといった印象の動物たち。特にオオカミなんて悪者のイメージしかありません。でも、さっちゃんもお母さんも、同じ「子ども」として分け隔てなく、優しく受け入れるのです。いいにおいと共にそんなあたたかさも感じて、この絵本が大好きだったように思います。単純な絵と文章から想像するそのおいしさは無限大！**美味しい絵本は人を幸せにします**。夏になると、子どもの頃を思い出す場面がそここに現れるような気がします。この夏は、懐かしく、優しく、あたたかい気持ちになれる、そんなおいしい絵本を開いてみませんか。

### おすすめ本

『ふんふんなんだかいにおい』にしまきかよこ／えとぶん こぐま社 (E ニシ)  
『ぐりとぐら』 中川李枝子／さく・大村百合子／え 福音館書店 (E ヤマ)  
『おばけのてんぷら』 せなけいこ／作・絵 ポプラ社 (E セナ)  
『からすのパンやさん 2版』 かこさとし／作・絵 偕成社 (E カコ)  
『11ぴきのねことあほうどり』 馬場のぼる／著 こぐま社 (E ハハ)  
『しろくまちゃんのほっとけーき』 わかやまけん／著 こぐま社 (E O ワカ)

## じぞうさんぽ

### ＜巣鴨～上池袋あやかし紀行＞

今回のコースは、今の季節におすすめな、不思議スポットを巡ります。出発はJR巣鴨駅。まずは地蔵通りの**とげぬき地蔵尊高岩寺**へ。今回のお目当ては、お馴染みの洗い観音様ではなく、その隣の**小僧稲荷**。立派な鳥居まであるのについて見逃しがちなこのお社、名前はお稲荷様ですが、実は祀られているのは、**タヌキ**です。高岩寺がまだ上野にあった頃、境内に棲みついていたタヌキで、お寺を荒らす輩を三つ目小僧などの妖怪に化けて撃退していたのですが、度が過ぎて人々に恐れられ、守護神として祀られたのだそうです。

高岩寺の横を裏に抜けて横断歩道を渡り、白山通り沿いに西巣鴨方面へ。豊島市場の前を通り、信号を右折すると、突き当りにお寺の門が見えてきました。こちらは**本妙寺**。明暦三年(1657年)に起きた**振袖火事**こと**明暦の大火**の火元と言われているお寺(当時の所在地は文京区本郷)で、境内には**明暦大火供養塔**が建立されています(墓地には遠山の金さん、剣豪千葉周作など、著名な方々のお墓もあります)。

本妙寺の門を出たら、右へ道なりに10分(途中で朝日小学校があります)。都電の踏切を渡ってすぐの所にあるのが、**お岩さんのお墓**で有名な**妙行寺**です(踏切手前の道路はその名もお岩通り)。お岩さんと言っても、あの東海道四谷怪談の怖い幽霊ではなく、そのモデルとなった人物、**田宮岩さん**のお墓です。実在の岩さんは、貞女の鑑で夫婦仲は円満だったと言われていますが、死後に田宮家に多くの災いをもたらしたという説もあり、その正体は未だ謎です。お岩さんを題材にした演劇などの関係者のお参りが知られていますが、それ意外の願い事も、卒塔婆を捧げて熱心に祈れば叶うと信じられており、お墓は膨大な数の卒塔婆に囲まれていました。

寺町を通って白山通りに戻り、三田線西巣鴨駅前の交差点から明治通りを池袋方面へ。大正大学、淑徳巣鴨の前を通り、上池袋四丁目バス停の先の交差点を右折。緩い坂の上にある交番の隣に、今回最後の目的地、**お茶あがれ地蔵**があります。この地に住んでいた農夫と板橋宿の女性が結婚の約束をしたが、訳あって会えなくなり、女性は農夫の実家の近くまで来て病に倒れ、その後、夜毎幽霊として現れては「お茶あがれ～」と訴えたため、地元の人々が供養した、と伝えられています。会えなくなった理由は、農夫が身請け金を稼ぎに奉公に出たまま帰らなかった、周囲に結婚を反対されていた等、諸説あります。小さな祠に、お地蔵様と庚申の供養塔が収められており、今でも毎年4月13日には供養が行われているそうです。訪問は7月でしたが、お花と共に供えられた真新しい幟と卒塔婆に、地元の皆さんの愛情を感じました。



小僧稲荷



お岩さんのお墓



お茶あがれ地蔵



浅野家墓

※写真の「浅野家墓」は、お岩さんのお墓の隣にあった赤穂浅野家のお墓で見つけたものです。香炉の屋根のリス(?)が可愛かったので撮ってみました。

### ともぼん

### お供本

旅のお供に  
ふさわしい図書館  
蔵書をご紹介します

『豊島の民話』 豊島図書館／編集  
東京都豊島区 (388 ト) (KO 388)

『東京有名人のお墓さんぽ』 人文社  
(291 ト) (2階の巣鴨特色コーナーにあります)

『江戸の怪異と魔界を探る』 飯倉義之／監修  
カンゼン (388 エ)